

サイバーセキュリティ対策通信 令和2年度 第6号

狙われるネットワーク機器 小規模・家庭用ルータにもセキュリティ対策を！！

本年1月、IPA等が運営しているJVN iPedia(脆弱性情報データベース)から複数のルータ(※ NEC社、エレコム社、ロジテック社製品の一部)の脆弱性情報が報告されています。

※対象機器(小規模・家庭用ネットワーク用ルータ)

NEC社製品 Aterm WF800HP、WG2600HP、WG2600HP2

エレコム社製品 WRC-300FEBK、300FEBK-A、300FEBK-S、F300NF、1467GHBK-A等

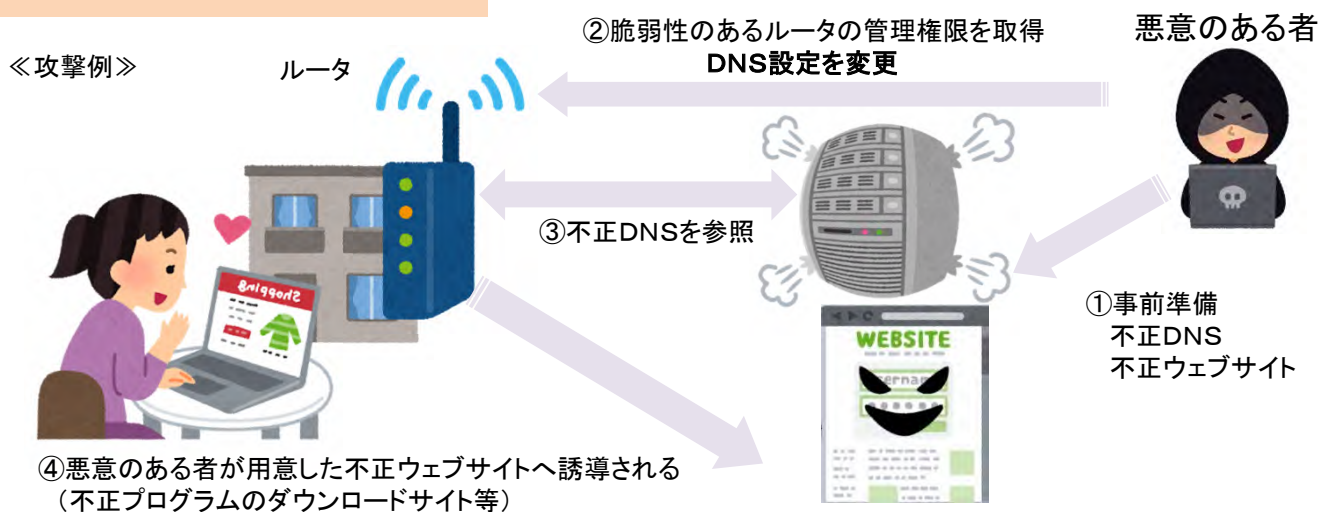
ロジテック社製品 LAN-WH450N/GR、W300N/PR5B、W300N/PGRB、W300N/RS

対象となるファームウェアバージョン等の詳細情報は、メーカーホームページをご確認ください。



近年、メーカーのサポートが終了した旧式のルータの脆弱性が問題となっており、このような機器は、ファームウェアの修正等のアップデートが提供されないことから、**複数の深刻な脆弱性が**潜んでいます。

脆弱性があるとなんになる？



推奨するセキュリティ対策

- ・出荷時の初期パスワードは、確実に変更する。
- ・ファームウェアを最新のバージョンにする。
(自動更新機能がある場合は、「有効」に設定)
- ・管理画面へのアクセス制御機能を有する機種であれば、インターネット側からアクセスできないようにする。
- ・利用している機器のサポートが終了となっている機器は更新する。
※機器を直ちに更新できない場合
メーカーがホームページにおいて脆弱性の影響を軽減する方法を公開している場合があるので、対応してください。(根本的な対策にはなりません。)